

首里で沖縄戦が学べるスポット

一中健児之塔や一中学徒隊資料展示室以外にも、首里には沖縄戦を学べる場がある。そのいくつかをご紹介します。

第32軍司令部壕説明板

首里城地下に構築された陸軍第32軍司令部壕について解説した説明板がある。図面つきでわかりやすく解説されているので、壕の全容をつかむのにピッタリ。

忠魂碑跡

歓会門に向かって右側の石垣の上の茂みの中にあつて、全く目立たないが、明治維新以降戦死した地域出身の兵士のために建立されていた「忠魂碑」の跡。碑文が読めないほどボロボロなのは、それだけ首里城への攻撃が猛烈だったということを物語る。

西のアザナ

首里城隋一のビューポイント。特にここが戦跡というわけではないが、32軍司令部壕の上であり、読谷方面から島尻までを見ることができると大パノラマの中で、なぜここに司令部壕が置かれたか、この司令部壕を目指して進軍してきた米軍のルートや、ここから南部へと撤退していった日本軍側の動きなどが立体的に理解できるのがオススメ。

一中健児之塔

前ページで紹介した一中の慰霊碑。平和を願うところを表現した慰霊碑、戦没者一人ひとりの名を刻んだ記録

碑、健児の像、一中壕などがある。一中の慰霊祭は、首里高生の手によって毎年6月23日にここで行われる。一中学徒隊資料展示室も隣接。

首里教会の十字架

廃墟の街と化した首里で、なんとか焼け残った奇跡の十字架が首里教会内に保存されている。平日は見学可能なので、教会事務室に声をかけて見学希望だと一声かけよう。

真魂の塔

首里真和志町の真和志町自治会敷地内に1946年に設置された慰霊碑。147名が祀られている。

旧中城御殿の石垣

2015年10月現在工事中だが、中城御殿の石垣の中には沖縄戦当時の弾痕が残っている場所もあるので探してみて。

平魂之塔

首里平良町の平良公民館敷地内に1952年に設置された、平良町の慰霊碑。324名が祀られている。

静魂之塔

首里石嶺町1丁目、通称御殿山の読谷御殿の墓や伊江御殿墓の近くにある。1952年に設置され、94名が祀られている。



沖縄県師範学校
附属小学校

1881(明治14)年、西村学校が沖縄師範学校附属小学校となる。1886(明治19)年、師範学校の移転に伴い、附属小学校も首里へ移転。入学には面接試験があり、現代の感覚で言うと国立大付属小学校のような存在で、両家の子女が通ったという。



沖縄県
師範学校

1880(明治13)年、標準語を教える会話伝習所設立、同年、沖縄師範学校となる。1881(明治14)年、沖縄県立師範学校に改称、1886(明治19)年、龍潭に面する敷地(現在の県立芸大)に移転。沖縄戦では「師範鉄血勤皇隊」として386名が動員。糸満市摩文仁の慰霊塔「沖縄師範健児の塔」では戦没職員17名、生徒289名を祀る。



沖縄県立第一中学校
／沖縄県立首里高等学校

1798年、尚温王の命により国学が創立された。廃“琉”置県の翌年、1880(明治13)年に首里中学校へと改称。以後、数度の名称変更を経て1911(明治44)年から敗戦まで沖縄県立第一中学校に。1946(昭和21)年糸満ハイスクール首里分校として再出発し、同年首里高等学校として独立。現在、普通科、染色デザイン科で約1300人が学ぶ。



首里第一
尋常高等小学校

1880(明治13)年に当蔵に創立された東小学校が前身。1893(明治26)年、首里尋常高等小学校に改称し、1912(明治45)年に首里城内の新校舎に移転(現在の下の御庭の辺り)。1941(昭和16)年に首里第一国民学校となり、戦後は城南小学校へ名称変更。第二国民学校は城西小学校に、第三国民学校は城北小学校になった。



沖縄県立
工業学校

1902(明治35)年首里区立工業徒弟学校として小禄殿内(首里当蔵町)に創立。1914(大正3)年、沖縄県立工業徒弟学校となり、1921(大正10)年、沖縄県立工業学校に名称変更。沖縄戦では「工業鉄血勤皇隊」として97名が動員された。糸満市摩文仁の慰霊碑「沖縄工業健児の塔」では、同窓生、職員、生徒合計167名を祀る。



沖縄県立
首里高等女学校

1897(明治30)年首里区立女子実業補習学校として創立。首里城内を校舎としたが、首里桃原町へ移転、沖縄県立工芸学校となり、1943(昭和18)年に沖縄県立首里高等女学校へと改称。沖縄戦で補助看護婦として動員され、戦後「ずるせん学徒隊」と呼ばれた。慰霊碑「ずるせん之塔」は首里桃原から糸満市米洲へと移転。戦没職員15名、生徒33名、同窓生56名を祀る。

写真提供／那覇市歴史博物館
参考文献／『沖縄の慰霊の塔』大田昌秀著 那覇出版社

文教のまち・首里 それは「国学」から始まった。

1798年に尚温王によって開設した琉球の最高学府「国学」から始まり、首里には戦前・戦後とさまざまな学校や大学があった。
文教のまち・首里の面影を訪ねながら、首里散歩を楽しんでみてはいかが。

戦後大学編



龍潭池より琉球大学を望む

琉球大学

1950(昭和25)年に沖縄初の高等専門教育機関として、首里城跡地に開学。首里城内をキャンパスとするには賛否両論あった。建学の理念は「自由と平等・寛容平和」。1977(昭和52)年から1984(昭和59)年にかけて西原へ移転した。

Map 7

沖縄キリスト教短期大学

1957(昭和32)年、沖縄キリスト教団によって首里教会内に開学。1962(昭和37)年、現在の上の毛(ウィーンモア)講演に首里キャンパスを建設して移転。県内初の私立高等教育機関で、県内唯一のミッション系。1989(平成元)年に西原キャンパスへ移転した。

Map 18

沖縄県立芸術大学

1986(昭和61)年、旧円覚寺跡地に隣接して開学。美術工芸学部(美術学科、デザイン工芸科)、音楽学部音楽科(声楽／器楽／音楽学／琉球芸能の各専攻)を設置。県内唯一の芸術系大学として、約400人の学生が学ぶ。1994(平成6)年には大学院も設置された。

Map 5 6

首里 平和学習 まっぷ



平成27年度戦略的課題解決型観光商品等支援事業 NPO法人首里まちづくり研究会 首里花いっぱいプロジェクト

みんなで考える 花の都首里 まちづくりフォーラム

首里まちづくり研究会では、首里を花であふれる地域にすることをめざして、首里在住の皆さまと共に創る「首里花いっぱいプロジェクト」を立ち上げました。そこで、具体的な内容について考える、まちづくりフォーラムを開催いたします。ぜひご来場くださいませ。

日時／平成27年10月18日(日) 午後3時～午後5時
場所／首里公民館ホール

入場
無料

先進事例「銀座ミツバチスロ
ジェクト」に学ぶ、花いっば
いのまちづくり／首里昔語
り／ご当地ハチミツ・スイ
ツ試食会／首里花いっばい
スロジェクト・ロゴマークデ
ザイン人気投票